

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	しまね和牛生産振興事業		
目的	(1) 対象	畜産農家	
	(2) 意図	産肉能力の高い種雄牛の造成や育種価、受精卵移植等を活用した繁殖雌牛群を整備する。 また、畜産経営の規模拡大や子牛価格の安定について支援を行うとともに、しまね和牛の肉質向上やPRを行う。	
事業概要	「しまね和牛」について、市場での評価を高め、ブランド確立に向けて以下の事業を行い、肉用牛経営の安定を図る。 1) 能力の高い種雄牛を新規造成するため、直接検定や後代検定の実施する。 2) 繁殖雌牛の能力向上を図り、育種価分析を用いた肉用牛の改良を促進する。 3) 畜産経営の規模拡大や子牛価格の安定について支援を行うとともに、しまね和牛の肉質向上やPRを実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		9,500	9,600	9,800	
式・定義	当該年度における繁殖雌牛頭数	実績値	8,998	8,944	8,743	8,518		頭数
		達成率		94.10	91.10	87.00		%
式・定義	当該年度における繁殖雌牛平均年齢	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		8.10	8.00	7.85	
式・定義	当該年度における繁殖雌牛平均年齢	実績値	8.20	8.00	7.90	6.85		歳
		達成率		98.80	98.80	112.80		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	54,460	53,420
うち一般財源(千円)	48,640	47,675

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・繁殖雌牛の頭数は平成23年度以降も引き続き減少（減少率13%）している。
 なお、飼育戸数については、平成23年度当時1,331戸から平成26年度1,057戸と、減少率（21%）は頭数の減少率より大きい。
 このことは、小規模経営体の廃業等によるものと考えられる。
 ・平成25年度からの県事業「地域改良基礎雌牛整備事業」による若齢牛への更新助成の効果により、繁殖雌牛の平均年齢は、平成23年度当時と比べ、1.35歳若返った

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・繁殖雌牛の若返りにより、改良が進んだ
 (H23年度)平均年齢8.20歳 → (H26年度)6.85歳
- ・全国でもトップレベルの種雄牛「茂弘松井」が造成できた
- ・子牛価格は上昇、高値推移
 (H23年度)384千円/頭 → (H26年度)543千円/頭
 ※中央家畜市場分
- ・上物率【肉質4.5率】の上昇
 (H23年度)49.4% → (H26年度)59.7%

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・子牛市場価格については、高値で推移しているものの、全国平均に比べて下回っている
 (県平均：539千円、全国平均：571千円 → 差：32千円)
- ・一方、もと牛高や飼料高により、肥育経営の生産コストが増え、経営を圧迫している

②困っている状況が発生している「原因」

- ・高能力の種雄牛が誕生しているが、子牛の生産及び市場出荷には、複数年かかることから、市場価格に反映していない
- ・輸入飼料価格が高値で推移
- ・全国的な子牛頭数が減少していることから、素牛価格が高騰

③原因を解消するための「課題」

- ・高能力の種雄牛の交配促進
- ・高能力の種雄牛から誕生した子牛の保留促進
- ・繁殖牛の増頭及び乳用牛への受精卵移植の推進による、子牛生産頭数の増

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・高能力の種雄牛交配促進事業による、交配促進及び種雄牛のPR
- ・地域改良基礎雌牛整備事業により、能力の高い雌牛の保留促進
- ・繁殖雌牛の増頭を推進する一方、受精卵移植（ET）技術を活用した乳用牛からの和牛生産等の取り組みを支援・推進する

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）